

令和4年度 道徳教育の全体計画

関係法令等
日本国憲法 教育基本法 学校教育法 学習指導要領 福岡県教育施策実施計画 福岡の教育ビジョン ふくおか未来人財育成ビジョン 福岡県学校教育振興プラン

校訓等
<p style="text-align: center;">創造 勤労 協同</p>
学校の教育目標
創造性豊かな人間として、明るく主体的にたくましく生きる、実践力を持った産業人を育成する。

社会の要請、地域や生徒の実態
<社会や地域の要請> ・基礎学力を身につけるとともに、専門高校生として、専門的な知識を身につけ、地域に貢献できる人材の育成が望まれている。 <生徒の実態> ・素朴で明朗活発。 ・基本的生活習慣の確立が必要。 ・社会人として通用するマナーや言葉遣い、我慢強さを身につけることが課題。

各教科	
国語	人間の生き方についての考えを深めるとともに、日本文化に触れさせ、礼節を重んじる心や他者を思いやる心を涵養し、社会性を持った人材の育成を目指す。
地歴	我が国及び世界の諸国家の歴史と文化に関する知識を身に付け、望ましい国家観と社会参画の意識を養い、主体的に社会と関わろうとする態度を育てる。
公民	現代社会についての理解を踏まえ、自ら課題を認識して対峙し、広い視野に立って意欲的に考察し、平和で民主的な国家社会を形成していく態度を養う。
数学	数学的なものの見方や考え方を学ぶことにより、物事を客観的に考察し、筋道を立てて論理的に考える思考を身につけさせる。
理科	自然の事物、現象を探究する活動を通して、自然と人間とのかかわりについて認識を深め、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を育成する。
保健体育	運動を実践する中で、自己の責任を果たし、集団に貢献しようとする公正、協力の態度を育成する。また健康の大切さを知り、健康を維持するために必要な科学的知識を身につけ、自らの健康を管理する。
芸術	芸術を愛好する心情を育て、感性を高めるとともに、芸術文化についての理解を深め、豊かな情操を養うことにより、道徳性の基盤の育成を図る。
外国語	異文化理解を深めることで、様々な考え方や価値観を学び、国際社会に生きる一員としての自覚を育む。
家庭	「家庭総合」・「家庭基礎」の学習を通して、衣食住の大切さについて深く理解し、より良い家庭生活を実践できる力を育成する。
専・農業	農作物や草花を栽培することを通して、命の尊さを知り、自然を愛する心を育む。
専・商業	社会人として必要なビジネスマナーを学ぶとともに、生徒自ら学び考え問題を解決する能力を身に付け、実践力を育成する。
専・家庭	家庭に関する専門的知識・技術を活かして、地域に貢献できる生徒を育成するとともに、異年齢者との関わりを通して、他者を思いやる心をもった豊かな人間性を養う。

学校の道徳教育重点目標
(1) 生徒理解を根底に据え、さわやかでけじめのある、基本的生活習慣が身についた人間を育成するための生徒指導の改善充実。 (2) 基礎・基本を重視し、生徒の資質・能力や個性、進路希望に応じた学力の向上。 (3) キャリア教育を重視し、資格取得を奨励し、変化する社会に対応できる進路指導の確立。 (4) 気力・体力に溢れ、健康でたくましい心身の育成。 (5) 他人を思いやる心や感動する心など豊かな人間性を持って人権を尊重する精神の育成。

家庭・地域及び異校種との連携
・地域での就業体験を通して、職業観・勤労観を育成し、社会におけるマナーやモラルの意識向上を図る。 ・地域の園児や小学生、あるいは高齢者との交流を図り、専門学科で身につけたことで地域に貢献できることを体感し、達成感を得たり、社会人としてのコミュニケーション能力の育成を目指す。

各学年の重点目標	
1 学年	高校生としての規範意識やマナーを身につけるとともに、出席率の向上、挨拶の励行、正しい言葉遣い等の基本的生活習慣を確立する。
2 学年	基本的生活習慣を確立はもとより、上級生としての自覚を高めるとともに、自己の進路について考えを深め、確かな職業観を形成する。
3 学年	最上級生としての自覚を持たせ、積極的に社会に貢献できる生徒を育成する。また自己の能力、適性の上に将来を展望し、自己実現を図る。

道徳教育の推進体制	
教務	道徳教育の視点を取り入れた教育指導計画を作成するとともに、各教科の年間指導計画や特別活動の年間計画に道徳教育の視点を取り入れた指導を行うよう指導する。
生徒指導	社会人として自立するための基本的生活習慣を身につけさせるため、学校全体として統一した生徒指導を行う。
進路指導	社会人として必要なコミュニケーション能力を身につけ、望ましい社会観や勤労観・職業観の育成を図る。
図書・研修	図書館・視聴覚教室でのマナーを指導する体制を整備し、研修では基礎・基本の充実を基本理念として、実践的な研修を企画していく。
保健	保健日より委員会活動を充実させ、健康課題解決に向け取り組む。また、安全で快適な学校環境作りに取り組む。
人権教育	他者の悩みや痛みを自らの上に重ね、共に歩む人権感覚の涵養を目標とし、人権教育特設授業の指導計画を作成する。

総合的な学習(探究)の時間
[課題研究で代替] 自ら課題を設定し、計画的に研究したり、活動を実践する態度を養う。課題解決に向けての、他者との協調性やコミュニケーション能力を培う。自然との関わりや地域社会への貢献参画への意欲を育てる。

特別活動
集団生活の中で、豊かな人間性を養いながら、社会規範を遵守する意識を高め、人間としての在り方や生き方についての自覚を深め、自己を生かす能力を養う。